

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

ワンストップですべてのセキュリティソリューションを提供できる「セキュリティソリューションプラットフォーム」を有する「ITエンジニア集団」を目指す

調整後営業利益
7億円

2 中長期の経営戦略

1. オーガニックグロース

セキュリティ製品、aaS製品、働き方改革製品、ITサービス事業など基盤・成長事業の拡大施策を実施

3. 投資グロース

フーバー・インベストメントによるキャピタルゲイン確保。デジタルグリッド株式会上場に伴う売却で385百万円の投資利益を実現

2. M&Aグロース

2024年2月にCONVICTION、9月・10月にARPEGGIO及びイチアール子会社化。戦略提携も含めて推進

4. セキュリティ製品強化

Eye「247」Safety Zoneシリーズ、FB SAT、NDRソリューション「Network Blackbox」の展開を本格化

3 対処すべき課題

① 成長事業の継続拡大

- セキュリティ&ネットワークaaS製品68.8%増、働き方改革製品32.5%増の成長を維持
- Network Blackboxの本格展開とセキュリティソリューションプラットフォーム拡大
- Webマーケティングによる直エンド販売の拡大

② M&A統合と事業相乗効果

- ARPEGGIO・イチアール子会社化後の通期業績寄与実現
- グループ間の人材・顧客相互活用によるシナジー創出
- 会社間のベストプラクティス相互適用

③ 投資収益の確保

- デジタルグリッド株式会社の株式売却で385百万円投資利益を実現
- 継続保有銘柄の将来売却による利益貢献の実現
- 今後のキャピタルゲイン見込み企業への純投資継続

面接で使えるポイント

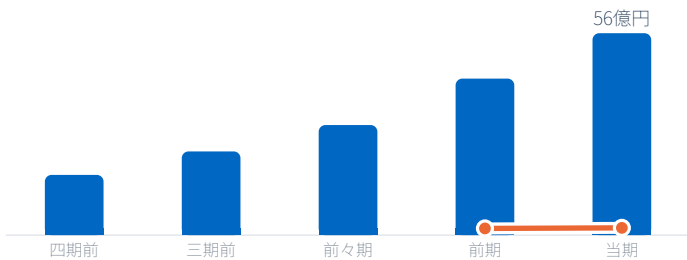
- セキュリティソリューションプラットフォーム構想で9期連続過去最高売上4,373,104千円達成
- 2024年2月・9月・10月の3社M&A子会社化で、ITエンジニア集団の人材サービス基盤を強化
- オーガニック・M&A・投資の3つの成長ファクターで、2026年3月期調整後営業利益7億円達成を目指す

株式会社フーバーブレイン

情報・通信業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 3月末…

証券コード 3927

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
56億円

営業利益率
3.6%

財務健康度
35点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 45.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
713万円

情報・通信業内 191位/592社

平均年齢
45.5歳

情報・通信業内 47位/593社

平均勤続
6.6年

情報・通信業内 280位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

株式会社フーバーブレイン 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

